

2015（平成 27）年度事業報告書

2015（平成 27）年 8 月 17 日から 2016（平成 28）年 3 月 31 日

特定非営利活動法人 NINJA Project

■事業総括■

NPO 法人設立 1 年目に当たり、理事及び会員が当法人の社会的使命「Connecting Nagano with the world!（つなごう、長野を世界に!）」及び、目的である「ひとりでも多くの外国人に信州に来て文化を体験してもらうために、長野の良さを発掘しおもてなしの心を育むこと」をしっかりと認識した上で、各事業の基盤を築くことに力点を置き事業を実施してきた。

NPO 法人設立以前に行ってきた、「Unique Nagano」をはじめとした資源と経験、人脈を活用し、3つの柱「インバウンド推進啓発事業」「インバウンド誘客事業」「情報発信サポート・協働事業」に取り組み、法人としての活動の基盤ができてきた。

「インバウンド推進啓発事業」においては、代表、副代表、理事 3 名が啓発活動を県内外で行った。また、雑誌、新聞、ラジオ、テレビ局などへのプレスリリースの発行や取材対応を行い、広く啓発活動ができた。“忍者”に関しても、NHK 大河ドラマ「真田丸」の効果もあり、注目度が高まって問い合わせも多かった。

「インバウンド誘客事業」において、柱である Unique Nagano のアクセス数は高く、イベントや講演会でのチラシ配布、説明、Facebook ページでの誘客活動をすすめた。また英語でのウォーキングツアーを定期開催し、参加人数は少なかったものの、外国人向けの新しいツアー開発について随時、実験検討してきた。

特記すべきは「情報発信サポート・協働事業」である。長野地方事務所やながの観光コンベンションビューローをはじめとする観光広域連合との「NAGANO NIIGATA MAP」制作、長野商工会議所との英文飲食サイト「NAGANO RESTAURANT」の制作、長野県公式ページ「Go!NAGANO」のコンテンツをはじめ各言語記事の制作、G7 交通大臣会合公式ページの制作や国際交流事業の提案など、多くの協働事業を経験し、理事以外の人材発掘と人材活用もでき、次年度に向けたコンサルティング事業の基盤を築くことができた。

また、様々な団体、マスコミなどからの当法人の活動に対して、予想以上の反響があり、事業を通して当法人の社会的認知が高まるとともに、事業を行政、団体、企業などと協働して遂行したことにより、法人としての信用性を確保できてきた。

活動を通して協力者が増え、来年度に向け正会員・賛助会員の確保に努めてきた。

<実績報告>

1. インバウンド推進啓発事業

a. 講演等によるインバウンド啓発事業

代表タイラー・リンチの「インバウンド啓発リーダー」としての広報活動、及び県内外でインバウンドに関連する講演会、審議会、協議会などへ参加した。

その他実績 理事: 増尾晴子 長野商工会議所 講師

事務局長: 寺澤順子 長野県インバウンド研究チーム 講師

b. 忍者を目玉とした観光推進事業

理事宮下晃が代表を務めるNPO法人こども忍者スクール長野忍法武術会と連携し、日本古来の文化である長野忍者を観光の目玉として広報し、外国人に忍者体験を外国語で行う事業企画及び受付窓口

理事: 宮下晃 例: 美湯の宿ほか

2. インバウンド誘客事業

a. Unique Nagano アプリ及びウェブサイト運営事業

2014年度に長野県の委託事業として行った県内300件の観光情報をベースにした多言語アプリ及びウェブサイト「Unique Nagano」の運営については、SNSと連携した情報発信を月2~4回程度行った。

b. 自主講演会等企画開催事業

法人設立時の「Unique Nagano」発表シンポジウムの開催。

9月28日新小路カフェで開催。約60名出席。

c. 外国語による観光客アテンド事業

通訳ガイド資格者による観光地へのアテンド企画開発・受付窓口については、モニターツアー2回:出席延10名。実績3回。参加者延8名。

3. 情報発信サポート・協働事業

a. 外国人観光マップ・パンフレット等、企画・作成・翻訳事業

行政・企業・地方公共団体・NPO等が企画する観光マップ・パンフレット・ウェブサイト等の企画・作成・翻訳。地域のレストラン・ホテル・観光スポット等の外国語パンフレット・メニュー等の企画・制作・翻訳を行った。

【実績】

北信濃観光連盟(事務局: ながの観光コンベンションビューロー) : NAGANO NIIGATA MAP 制作

長野商工会議所(委託事業: カシヨ(株)): 英文飲食サイト NAGANO RESTAURANT の制作

長野県(委託事業:㈱アドソニック):公式ページ Go!NAGANO の記事制作
G7 交通大臣会合長野県推進協議会(委託事業:SBC):G7 公式ページの制作
G7 交通大臣会合長野県推進協議会:国際交流事業の提案

長野市内 6 校、外国人講師 5 名派遣

b. 外国籍居住者リーダーネットワーク構築事業

県内各地でインバウンドを目的に活躍する外国籍リーダーを発掘し、交流、情報提供などのネットワーク構築のための準備。シンポジウム出席者や、G7 国際交流事業、外国語による観光客アテンド事業、Go!NAGANO 翻訳コーディネート実績による、外国人との人脈ができつつあり、SNS で外国人サポーターグループを作り、情報交換を行ってきた。

<課題について>

1. 理事の講演活動の把握について課題が残った。今後は窓口機能の充実とルール整備が必要である。
2. NPO 法人化の反響が予想以上に大きく、専従職員がいない中、問い合わせへの対応に苦慮した。委託事業が多い上に作成期間が同時期となり、対応に人手が足りない状況が一時的に生まれた。体制整備が必要である。
3. 柱であるアプリ Unique Nagano の確認作業、広告営業活動などまで手がまわらず、アクセス数が思ったほど上がらなかった。次年度改革が必要。
4. モニターツアーについては、参加数が少なく、その周知、コース、企画の再検討が必要となっている。
5. 会員の拡大に伴い、会員サービスとして交流会や、情報提供などについての整備が必要である。更なる多様な外国籍市民や、学生会員など若手の参加促進を要する。
6. コンサルティング事業について、可能性が見えてきたが、そのデータ管理や体制の整備が必要である。
7. 行政関連以外の企業や、他の分野の NPO や市民との交流や周知、協働について今後推進が必要である。